

プラスチック削減

長野県長野工業高等学校 物質化学科

斎藤柊弥 小山匠太

テーマ設定の理由

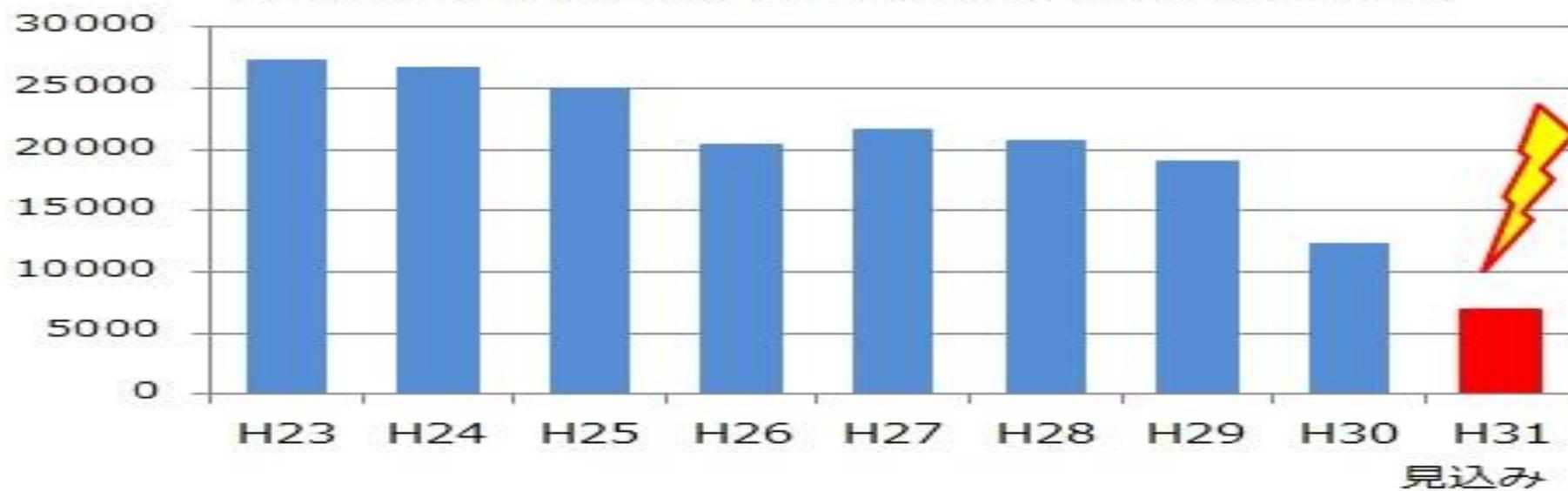
- 海洋マイクロプラスチック問題が目に入ったから
- レジ袋有料化は、全体的に効果があったのか疑問に思ったから

現状

おかげさまで！
レジ袋の使用量が
年々減少しています！



レジ袋使用量の推移※仕入数からの推測値



平成25年度→平成31年度

年間 約 25,000 枚 → 約 7,000 枚

一日あたり 約 80 枚 → 約 22 枚

- 国は2020年（平成32年）7月からレジ袋の有料化を開始した。これにより日本のプラごみ排出量の削減をめざした。
- プラスチックは様々な用途で私たちの生活に貢献している一方で廃棄物 資源節約 海洋プラゴミ問題などの課題もあるためプラスチックの過剰な使用の抑制もふくまれている。
- 上記のグラフのように有料化前からレジ袋の使用率は減少している。
- 有料化が開始してから1年たったいまでは使用率が半分にまで減少した。

問題点

- レジ袋の有料化ではレジ袋の使用率は減ったが他のプラスチック製品の対策はなくレジ袋を再利用してごみ袋にしていた人が一定数いることやコロナ禍で宅配サービスの需要が急激に上がりそこでプラスチック食器が多く使用されている。
- これにより使用量は一時的には減ったがトータルで見るとプラスチックゴミは増加傾向にある

今後の課題

- レジ袋以外のプラスチック製品に対策を設ける。
- 小売店では紙袋を使用する。
- 袋を購入したら1回だけでなく複数回使用する。
- マイバックを使用する。

SDGs 実現のための10代からの提言

- 更なるプラスチック削減のため企業の間で頻繁に協力する。
- 市が上勝町のように条例をつくる。

考察 感想

- もっと早く対策を国はとるべきだと思った。
- レジ袋だけではなくプラスチック全体に対策をするべきだと思った。
- 野生動物にも被害が出ているから早く対応するべきだと思った。
- 限りある資源を大切にすべきだと思った。